

お客さま 各位

## 合併のお知らせ

このたび、私ども江差信用金庫と函館信用金庫は、平成29年1月を目処として、対等合併することで基本合意いたしました。

今後、平成29年1月の合併に向けて、作業を進め、一日も早く皆様のご期待にかなうよう、役職員一丸となって努力する覚悟でございます。

何卒、ご支援、ご愛顧のほど、お願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、「合併趣意書」および「合併の基本事項」をご高覧いただきますよう、お願い申し上げます。

平成28年1月29日

江差信用金庫

理事長 藤谷 直久

## 合併趣意書

このたび、江差信用金庫と函館信用金庫は、代表者間において協議を重ねた結果、平成29年1月を目処として、対等の立場で合併することで合意いたしました。

金融機関を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、信用金庫においても資産の健全性と収益力の向上が今まで以上に求められています。

このような状況下、より一層お客様に信頼され真に地域から必要とされる金融機関になるためには、隣接し営業区域が重複する2つの信用金庫が合併し、スケールメリットと効率性を高めることにより、健全かつ強固な経営基盤を構築することが最大の方策であるとの認識で一致いたしました。

今回の合併の目指すものは、次のとおりと考えております。

1. 経済全体に回復の流れが生じてきているものの、地域経済は依然として厳しい状況に置かれており、本合併によるスケールメリットを活かし、業務の多様化・高度化など一層の深度ある金融サービスの強化を進めることで経営の基盤強化が図られ、より充実した地域への円滑な資金供給等金融仲介機能の発揮に繋がり、地域社会の発展に今まで以上に貢献できることとなります。
2. 本格的な人口減少時代、超高齢化社会の到来による社会構造の急激な変化が想定される中、人材の有効活用、事務コストを中心とした効率化等による経営体制の強化により、多様化・高度化するお客様の要望に迅速かつ的確に応えることが可能となります。

以上のように、合併後発足する信用金庫といたしましては、更なる経営体制の強化を図り、地域金融機関として確固たる経営基盤を構築し、もってお客様の利便性向上と地域社会の発展に貢献していく所存であります。

今後は、順次所定の合併手続きを進めてまいりますとともに、お客様をはじめとして各方面からのご協力を得て、一日も早く今回の合併の効果が発揮されるよう、役職員一丸となって努力する所存でございますので、格別のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年1月29日

江差信用金庫 理事長 藤谷 直久  
函館信用金庫 理事長 上條 博英

## 合併の基本事項

1. 合併期日 平成29年1月を目処とする。
2. 合併の方法 対等合併とし、合併手続上は江差信用金庫を存続金庫とする。
3. 名 称 合併後の金庫の名称は、合併準備委員会で協議のうえ決定する。
4. 合併後の本店・本部 本店：現 江差信用金庫の本店とする。  
本部：現 江差信用金庫の本部および現 函館信用金庫の本部の2か所とする。
5. 合併後の役員 理事長は、藤谷 直久（現 江差信用金庫理事長）とし、副理事長を上條 博英（現 函館信用金庫理事長）とする。  
その他の役員については、別途協議する。
6. 職員の引継ぎ 存続金庫において引き継ぎ雇用する。
7. その他合併の主要事項
  - (1) 合併金庫の出資 合併比率は対等とし、出資1口の金額は500円とする。
  - (2) 合併の効力 平成28年6月に開催予定の通常総代会決議および北海道財務局長の認可を条件とする。
  - (3) 合併準備委員会 合併に関する細目を協議するため、合併準備委員会を設ける。
8. 両金庫の概要  
沿革・営業地域 別紙のとおり

## 1. 両金庫の概要

| 金庫名      | 江差信用金庫               | 函館信用金庫            | 合計         |     |
|----------|----------------------|-------------------|------------|-----|
| 本店所在地    | 北海道檜山郡江差町<br>字本町132番 | 北海道函館市大手町<br>2番7号 |            |     |
| 理事長      | 藤谷 直久                | 上條 博英             |            |     |
| 預金積金（末残） | 142,909百万円           | 123,425百万円        | 266,334百万円 |     |
| 貸出金（末残）  | 64,491百万円            | 69,484百万円         | 133,975百万円 |     |
| 自己資本比率   | 22.45%               | 10.24%            | 16.95%     |     |
| 普通出資金    | 367百万円               | 1,697百万円          | 2,064百万円   |     |
| 会員数      | 7,645                | 11,824            | 19,469     |     |
| 常勤役職員数   | 166人                 | 128人              | 294人       |     |
| 店舗数      | 10店                  | 11店               | 21店        |     |
| ATM台数    | 25台                  | 29台               | 54台        |     |
| 道内順位     | 預金積金                 | 19位               | 21位        | 12位 |
|          | 貸出金                  | 20位               | 18位        | 10位 |

(注) 計数は平成27年3月末現在

## 2. 沿革

### 江差信用金庫

大正13年 2月 有限責任江差信用組合として設立  
 昭和26年12月 江差信用金庫に改組  
 現在に至る

### 函館信用金庫

大正13年 7月 有限責任函館信用組合として設立  
 昭和26年10月 函館信用金庫に改組  
 現在に至る

## 3. 営業地域

### 江差信用金庫

北海道檜山郡（江差町・上ノ国町・厚沢部町）、函館市、北斗市、松前郡（松前町・福島町）、爾志郡乙部町、奥尻郡奥尻町、久遠郡せたな町（旧瀬棚町、旧北檜山町を除く）、上磯郡（木古内町・知内町）、二世郡八雲町、亀田郡七飯町

### 函館信用金庫

北海道函館市、北斗市、上磯郡（木古内町・知内町）、亀田郡七飯町、松前郡（福島町・松前町）、茅部郡（森町・鹿部町）、二世郡八雲町（旧熊石町を除く）、檜山郡（江差町・上ノ国町）